

基本計画書

基 本 計 画 書										
事 項		記 入 欄							備 考	
計 画 の 区 分		研究科の専攻に係る課程の変更								
フ リ ガ ナ 設 置 者		コクリツダガクカクシン ゲンマダガク 国立大学法人 群馬大学								
フ リ ガ ナ 大 学 の 名 称		ゲンマダガクカクダガクイン 群馬大学大学院（Gunma University Graduate School）								
大 学 本 部 の 位 置		群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地								
大 学 の 目 的		群馬大学大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的とする。この目的に基づき、幅広く豊かな学識に立脚し、専門分野において創造性豊かに自立して研究活動を実践でき、高度な専門性・国際性を必要とする職業を担うための能力を身に付け、研究者・技術者・高度専門職業人としての倫理観を身に付けている人物を養成する。								
新 設 研 究 科 等 の 目 的		情報学研究科では、AI、データサイエンスなどのスキル、知識をより先端的・実践的な場面で活用する能力を養うとともに、情報技術と関係する多様な専門分野について理解と洞察を深め、先端的な研究に携わる能力を養う。情報科学・データサイエンスの専門知識に基づいて研究開発の一翼を担える能力を涵養するとともに、情報技術と密接に関係する社会の諸相について理解を深め、急激に変化する社会に対応して専門知識に基づく問題解決を図り未来社会の創造を担う人材を育成する。また、人文科学・社会科学・情報科学の知識に基づいた社会的洞察力・状況分析能力・科学的思考能力を駆使して、各種組織の意思決定に寄与できる人材を育成する。								
新設研究科等の概要	新 設 研 究 科 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	【基礎となる学部等】 情報学研究科 情報学専攻（修士課程） 14条特例の実施
	情報学研究科 情報学専攻（博士後期課程） 計	年 3	人 4	年次人 -	人 12	博士（情報学）	社会学・社会福祉学関係 工学関係	年月 令和8年4月第1年次	群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地	
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）		研究科等連係課程実施基本組織 パブリックヘルス学環（博士後期課程）（2）（令和7年7月設置報告予定） 研究科等連係課程実施基本組織 医理工レギュラトリーサイエンス学環（博士後期課程）（2）（令和7年7月設置報告予定） 理工学府 理工学専攻（博士後期課程）〔定員減〕（△4）（令和8年4月） 令和8年4月課程名称変更予定 情報学研究科 情報学専攻 パブリックヘルス学環 医理工レギュラトリーサイエンス学環 修士課程 → 博士前期課程 ※博士課程の設置に伴い、修士課程を博士前期課程に変更								
教育課程	新設研究科等の名称	開設する授業科目の総数					修了要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計					
	情報学研究科情報学専攻（博士後期課程）	8科目		4科目		0科目		12科目		13単位

研究科等の名称			専任教員					助手	専任教員以外の教員 （助手を除く）		
			教授	准教授	講師	助教	計				
新 設 分	情報学研究科 情報学専攻（博士後期課程）		人 19 (19)	人 19 (19)	人 0 (0)	人 0 (0)	人 38 (38)	人 0 (0)	人 2 (2)	令和7年3月意見 伺い予定	
	研究科等連係課程実施基本組織 パブリックヘルス学環（博士後期課程）		<0> 【17】 (17)	<0> 【0】 (0)	<0> 【0】 (0)	<0> 【0】 (0)	<0> 【17】 (17)	<0> 【0】 (0)	<0> 【22】 (22)	令和7年7月設置 報告予定	
	研究科等連係課程実施基本組織 医理工レギュラトリーサイエンス学環 （博士後期課程）		<0> 【11】 (11)	<0> 【1】 (1)	<0> 【0】 (0)	<0> 【0】 (0)	<0> 【12】 (12)	<0> 【0】 (0)	<0> 【4】 (4)	令和7年7月設置 報告予定	
	計		47 (47)	20 (20)	0 (0)	0 (0)	67 (67)	0 (0)	— (—)	注) <>の中の数は研究科等連 係課程実施基本組織のみに 従事する専任教員。	
既 設 分	教育学研究科 教育実践高度化専攻（専門職学位課程）		8 (8)	5 (5)	4 (4)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	22 (22)	【1】の中の数は研究科等連 係課程実施基本組織と連係 協力研究科等に従事する専 任教員。	
	情報学研究科 情報学専攻（博士前期課程）		25 (25)	22 (22)	2 (2)	0 (0)	49 (49)	0 (0)	45 (45)		
	医学系研究科 生命医科学専攻（修士課程）		57 (57)	44 (44)	42 (42)	0 (0)	143 (143)	0 (0)	137 (137)		
	医学系研究科 医科学専攻（博士課程）		57 【12】 (57)	43 (43)	43 (43)	0 (0)	143 (143)	0 (0)	111 (111)		
	保健学研究科 保健学専攻（博士前期課程）		30 (30)	14 (14)	0 (0)	0 (0)	44 (44)	0 (0)	100 (100)		
	保健学研究科 保健学専攻（博士後期課程）		30 【9】 (30)	14 (14)	0 (0)	0 (0)	44 (44)	0 (0)	45 (45)		
	理工学府 理工学専攻（博士前期課程）		65 (65)	52 (52)	0 (0)	0 (0)	117 (117)	0 (0)	97 (97)		
	理工学府 理工学専攻（博士後期課程）		65 【7】 (65)	52 【1】 (52)	0 (0)	0 (0)	117 (117)	0 (0)	34 (34)		
	食健康科学研究科 食健康科学専攻（修士課程）		6 (6)	10 (10)	3 (3)	7 (0)	26 (26)	0 (0)	46 (46)		
	研究科等連係課程実施基本組織 パブリックヘルス学環（博士前期課程）		18 (18)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	93 (93)		
	研究科等連係課程実施基本組織 医理工レギュラトリーサイエンス学環 （博士前期課程）		13 (13)	2 (2)	0 (0)	10 (0)	25 (25)	0 (0)	90 (90)		
	計		374 (374)	260 (260)	94 (94)	17 (17)	745 (745)	0 (0)	— (—)		
合 計			421 (421)	280 (280)	94 (94)	17 (17)	812 (812)	0 (0)	— (—)		
職 種			専 属			その他		計			
事 務 職 員			353 (353)			312 (312)		665 (665)			
技 術 職 員			1,193 (1,193)			160 (160)		1,353 (1,353)			
図 書 館 職 員			4 (4)			0 (0)		4 (4)			
そ の 他 の 職 員			1 (1)			574 (574)		575 (575)			
指 導 補 助 者			0 (0)			0 (0)		0 (0)			
計			1,551 (1,551)			1,046 (1,046)		2,597 (2,597)			
校 地 等	区 分		専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計		
	校 舎 敷 地		480,389㎡		0㎡		0㎡		480,389㎡		
	そ の 他		151,645㎡		0㎡		0㎡		151,645㎡		
	合 計		632,034㎡		0㎡		0㎡		632,034㎡		
校 舎			専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計		
			156,415㎡ (156,415㎡)		0㎡ (0㎡)		0㎡ (0㎡)		156,415㎡ (156,415㎡)		
講義室等・新設研究科等 の専任教員研究室			講義室		実験・実習室		演習室		新設研究科等の 専任教員研究室		大学全体の数
			100室		866室		711室		36室		

図書・設備	新設学部等の名称		図書 〔うち外国書〕冊		電子図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕点		機械・器具点	標本点	学部等単位での特定不能なため, 大学全体の数			
	大学等全体		606,590〔180,883〕 (606,590〔180,883〕)		1,702〔351〕 (1,702〔351〕)		22,800〔10,698〕 (22,800〔10,698〕)		8,051〔6,441〕 (8,051〔6,441〕)		7,225 (7,225)	25 (25)				
	計		606,590〔180,883〕 (606,590〔180,883〕)		1,702〔351〕 (1,702〔351〕)		22,800〔10,698〕 (22,800〔10,698〕)		8,051〔6,441〕 (8,051〔6,441〕)		7,225 (7,225)	25 (25)				
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分		開設前年度		第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		第5年次		国費による
		教員1人当り研究費等				— 千円		— 千円		— 千円		— 千円		— 千円		
		共同研究費等				— 千円		— 千円		— 千円		— 千円		— 千円		
		図書購入費		— 千円		— 千円		— 千円		— 千円		— 千円		— 千円		
		設備購入費		— 千円		— 千円		— 千円		— 千円		— 千円		— 千円		
	学生1人当り納付金				第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		第5年次			
					— 千円		— 千円		— 千円		— 千円		— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要				—												
既設大学等の状況	大 学 等 の 名 称		群馬大学												令和2年度より学生募集停止 	

教育学研究科 教育実践高度化専攻 (専門職学位課程)	2	20	—	40	教職修士 (専門職)	1. 25	令和2年度	群馬県前橋市荒牧町 四丁目2番地	
情報学研究科 情報学専攻 (修士課程)	2	60	—	120	修士 (情報学)	0. 65	令和6年度	同上	
社会情報学研究科 社会情報学専攻 (修士課程)	2	—	—	—	修士 (社会情報学)	—	平成10年度	同上	令和6年度 より学生 募集停止
医学系研究科 生命医学専攻 (修士課程)	2	13	—	28	修士 (生命医科学)	1. 33	平成19年度	群馬県前橋市昭和町 三丁目39番22号	令和7年度入学定員 減 (△2人) パブリックヘルス学環修士 課程の内数とする入学定員
医科学専攻 (博士課程)	4	55	—	226	博士 (医学)	0. 77	平成15年度		令和7年度入学定員 減 (△2人)
保健学研究科 保健学専攻 (博士前期課程)	2	50	—	100	修士 (看護学) 修士 (保健学)	0. 97	平成23年度	同上	パブリックヘルス学環修士 課程の内数とする入学定員
保健学専攻 (博士後期課程)	3	10	—	30	博士 (看護学) 博士 (保健学)	1. 00	平成23年度		
理工学府 理工学専攻 (博士前期課程)	2	223	—	477	修士 (理工学)	1. 31	平成25年度	群馬県桐生市天神町 一丁目5番1号	令和7年度入学定員 減 (△31人) 医理工レギュラトリーサイ エンス学環修士課程の内数 とする入学定員
理工学専攻 (博士後期課程)	3	34	—	112	博士 (理工学)	0. 84	平成25年度		令和7年度入学定員 減 (△5人)
食健康科学研究科 食健康科学専攻 (修士課程)	2	40	—	40	修士 (食健康科学)	—	令和7年度	群馬県前橋市荒牧町 四丁目2番地 群馬県前橋市昭和町 三丁目39番22号 群馬県桐生市天神町 一丁目5番1号	令和7年度設置
パブリックヘルス学環 (修士課程)	2	5	—	10	修士 (社会健康医学)	1. 20	令和6年度	群馬県前橋市昭和町 三丁目39番22号	
医理工レギュラトリー サイエンス学環 (修士課程)	2	5	—	10	修士 (医理工学)	1. 20	令和6年度	群馬県桐生市天神町 一丁目5番1号 群馬県前橋市昭和町 三丁目39番22号	

附属施設の概要	名称：群馬大学医学部附属病院 目的：患者の安全を第一とする高度な医療安全管理体制を確保し，その体制下で先進的医療を提供するとともに，次代を担う医療人育成のための教育及び研究を行うことを目的とする。 所在地：群馬県前橋市昭和町三丁目39番15号 設置年月：昭和24年5月 規模等：建物92,547㎡	
	名称：医学系研究科附属生物資源センター 目的：実験動物の飼育管理及び高次の実験を行い，医学教育及び研究の向上発展に資することを目的とする。 所在地：群馬県前橋市昭和町三丁目39番22号 設置年月：平成15年4月 規模等：建物4,986㎡	
	名称：医学系研究科附属薬剤耐性菌実験施設 目的：種々の病原菌を用い，疫学，生化学及び分子遺伝学的方法をもって，薬剤耐性菌についての基礎的及び応用的課題を解明するとともに，薬剤耐性菌の収集・保存及び配布することを目的とする。 所在地：群馬県前橋市昭和町三丁目39番22号 設置年月：平成15年4月 規模等：建物251㎡	
	名称：共同教育学部附属教育実践センター 目的：教育実践に関する臨床の学の創出を目指し，教育関係諸機関と連携し，教育実習，教育実践及び教育相談に関する理論的・実践的研究を行うとともに，それらの成果を踏まえた教育，研修及び支援を行い，豊かな教育実践力と子どもの成長をめぐる諸問題の解決力を身につけた学校教員の養成及び学校の教育力の向上に寄与することを目的とする。 所在地：群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地 設置年月：令和2年4月 規模等：建物228㎡	
	名称：共同教育学部附属小学校 目的：普通教育のうち基礎的なものを施し，かつ小学校教育の理論及び実際に関する研究並びに実証に寄与するとともに，共同教育学部学生 of 教育実習の実施に当たることを目的とする。 所在地：群馬県前橋市若宮町二丁目8番1号 設置年月：昭和26年4月 規模等：土地29,753㎡（附属特別支援学校と共有），建物8,365㎡	
	名称：共同教育学部附属中学校 目的：普通教育を施し，かつ中学校教育の理論及び実際に関する研究並びに実証に寄与するとともに，共同教育学部学生 of 教育実習の実施に当たることを目的とする。 所在地：群馬県前橋市上沖町612番地 設置年月：昭和26年4月 規模等：土地37,430㎡，建物6,700㎡	

	名称：共同教育学部附属特別支援学校 目的：知的障害者に対して，小学校，中学校又は高等学校に準ずる教育を施し，あわせて自立を図るために必要な知識技能を授け，かつ教育の理論及び実際に関する研究並びに実証に寄与するとともに，共同教育学部学生 of 教育実習の実施に当たることを目的とする。 所在地：群馬県前橋市若宮町二丁目8番1号 設置年月：昭和54年4月 規模等：土地29,753㎡（附属小学校と共有），建物4,008㎡	
	名称：共同教育学部附属幼稚園 目的：幼児を保育し，適当な環境を与えて，その心身の発達を助長するとともに，幼児の保育に関する研究及び共同教育学部学生 of 教育実習の実施に当たることを目的とする。 所在地：群馬県前橋市若宮町二丁目5番3号 設置年月：昭和26年4月 規模等：土地5,150㎡，建物978㎡	

国立大学法人群馬大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和8年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
群馬大学				群馬大学				
共同教育学部 学校教育教員養成課程	190	－	760	共同教育学部 学校教育教員養成課程	190	－	760	
情報学部 情報学科	170 ^{3年次}	10	700	情報学部 情報学科	170 ^{3年次}	10	700	
医学部 医学科	110 ^{2年次}	15	635	医学部 医学科	90 ^{2年次}	15	615	定員変更（△20）
保健学科	160 ^{3年次}	10	660	保健学科	160 ^{3年次}	10	660	医学部医学科の入学定員20名の増加については、令和7年度までの措置。
理工学部 物質・環境類	285 ^{3年次}	10	1,160	理工学部 物質・環境類	285 ^{3年次}	10	1,160	
電子・機械類	185 ^{3年次}	13	766	電子・機械類	185 ^{3年次}	13	766	
計	1,100 ^{2年次 3年次}	15 43	4,681	計	1,080 ^{2年次 3年次}	15 43	4,661	定員変更（△20）
群馬大学大学院				群馬大学大学院				
教育学研究科 教育実践高度化専攻（P）	20	－	40	教育学研究科 教育実践高度化専攻（P）	20	－	40	
情報学研究科 情報学専攻（M）	60	－	120	情報学研究科 情報学専攻（M） 情報学専攻（D）	60 4	－ ＝	120 12	課程変更（意見伺い）
医学系研究科 生命医科学専攻（M） （うち、生命医科学専攻（M）からパブリックヘルス学環（M）の内数とする入学定員数及び収容定員数）	13 (3)	－ －	26 (6)	医学系研究科 生命医科学専攻（M） （うち、生命医科学専攻（M）からパブリックヘルス学環（M）の内数とする入学定員数及び収容定員数）	13 (3)	－ －	26 (6)	
（うち、生命医科学専攻（M）から医理工レギュラトリーサイエンス学環（M）の内数とする入学定員数及び収容定員数）	(3)	－	(6)	（うち、生命医科学専攻（M）から医理工レギュラトリーサイエンス学環（M）の内数とする入学定員数及び収容定員数）	(3)	－	(6)	
医科学専攻（D）	55	－	220	医科学専攻（D） （うち、医科学専攻（D）からパブリックヘルス学環（D）の内数とする入学定員数及び収容定員数）	55 (1)	－ －	220 (3)	
保健学研究科 保健学専攻（M） （うち、保健学専攻（M）からパブリックヘルス学環（M）の内数とする入学定員数及び収容定員数）	50 (2)	－ －	100 (4)	保健学研究科 保健学専攻（M） （うち、保健学専攻（M）からパブリックヘルス学環（M）の内数とする入学定員数及び収容定員数）	50 (2)	－ －	100 (4)	
保健学専攻（D）	10	－	30	保健学専攻（D） （うち、保健学専攻（D）からパブリックヘルス学環（D）の内数とする入学定員数及び収容定員数）	10 (1)	－ －	30 (3)	
理工学府 理工学専攻（M） （うち、理工学専攻（M）から医理工レギュラトリーサイエンス学環（M）の内数とする入学定員数及び収容定員数）	223 (2)	－ －	446 (4)	理工学府 理工学専攻（M） （うち、理工学専攻（M）から医理工レギュラトリーサイエンス学環（M）の内数とする入学定員数及び収容定員数）	223 (2)	－ －	446 (4)	
理工学専攻（D）	34	－	102	理工学専攻（D） （うち、理工学専攻（D）から医理工レギュラトリーサイエンス学環（D）の内数とする入学定員数及び収容定員数）	30 (1)	－ －	90 (3)	定員変更（△4）
食健康科学研究科 食健康科学専攻（M）	40	－	80	食健康科学研究科 食健康科学専攻（M）	40	－	80	
パブリックヘルス学環（M）	(5)	－	(10)	パブリックヘルス学環（M） パブリックヘルス学環（D）	(5) (2)	－ ＝	(10) (6)	研究科等連係課程実施基本組織課程変更（設置報告）
医理工レギュラトリーサイエンス学環（M）	(5)	－	(10)	医理工レギュラトリーサイエンス学環（M） 医理工レギュラトリーサイエンス学環（D）	(5) (2)	－ ＝	(10) (6)	研究科等連係課程実施基本組織課程変更（設置報告）
計	505	－	1,164	計	505	－	1,164	

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(情報学研究科 情報学専攻 博士後期課程)																	
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要 授業 科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教員以外 の教員		
研究 科共 通科 目	研究人材就業力養成基礎	1・2・3前			2		○									1	
	実践アントレプレナーシップ特論	1・2・3前			1		○									1	
	実践研究リーダーシップ特論	1・2・3前			1		○									1	
	実践グローバル研究特論	1・2・3前			1		○									1	
	専門実践インターンシップ	1・2・3通			1			○		19	19						
	融合型リサーチプロポーザル	1・2・3通		1				○		19	19						
	国際リサーチコミュニケーション	1・2・3通		1				○		18	18						
	小計（7科目）	－		－	2	6	0	－			19	19	0	0	0	1	
専 門 コ ア 科 目	計算機・情報科学特別レクチャー	1・2前			2		○			6	7						オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス
	データサイエンス特別レクチャー	1・2前			2		○			6	5						
	社会・環境共創情報学特別レクチャー	1・2前			2		○			4	4						
	人文・社会情報学特別レクチャー	1・2前			2		○			3	3				1		
	小計（4科目）	－		－	0	8	0	－			19	19	0	0	0	1	
特 別 研 究	情報学特別研究	1・2・3通		9				○		19	16						
	小計（1科目）	－		－	9	0	0	－			19	16	0	0	0	0	
合計（12科目）		－	－	11	14	0	－			19	19	0	0	0	0	2	
学位又は称号		博士（情報学）			学位又は学科の分野					社会学・社会福祉学関係 工学関係							
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等								
修了要件は、以下の要件を満たし、13単位以上を修得するとともに、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。 1. 特別研究9単位を修得。 2. 研究科共通科目中の必修科目2単位（融合型リサーチプロポーザル1単位、国際リサーチコミュニケーション1単位）を修得。 3. 専門コア科目を2単位以上修得。									1 学年の学期区分				2期				
									1 学期の授業期間				15週				
									1 時限の授業の標準時間				90分				

別記様式第2号（その2の1）

（用紙 日本産業規格A4縦型）

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(情報学研究科 情報学専攻 博士後期課程)																	
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要 授業 科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 の 教 員		
研究科 共通 科目	研究人材就業力養成基礎	1・2・3前			2		○									1	
	実践アントレプレナーシップ特論	1・2・3前			1		○								1		
	実践研究リーダーシップ特論	1・2・3前			1		○								1		
	実践グローバル研究特論	1・2・3前			1		○								1		
	上級インターンシップ	1・2・3通			1		○		19	20							
	情報学リサーチプロポーザル	1・2・3通		1			○		19	20							
	上級国際インターンシップ	1・2・3通		1			○		19	20							
小計（7科目）		—	—	2	6	0	—			19	20	0	0	0	1		
情報学 コア 科目	計算機・情報科学特別レクチャー	1・2前			2		○			6	7						オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス
	データサイエンス特別レクチャー	1・2前			2		○			6	5						
	社会・環境共創情報学特別レクチャー	1・2前			2		○			4	4						
	人文・社会情報学特別レクチャー	1・2前			2		○			3	4						
	小計（4科目）			—	—	0	8	0	—			19	20	0	0	0	
特別 研究	情報学特別研究	1・2・3通		9			○		19	20							
	小計（1科目）			—	—	9	0	0	—			19	20	0	0		0
合計（12科目）		—	—	11	14	0	—			19	20	0	0	0	1		
学位又は称号		博士（情報学）			学位又は学科の分野			社会学・社会福祉学関係 工学関係									
卒業・修了要件及び履修方法									授業期間等								
修了要件は、以下の要件を満たし、13単位以上を修得するとともに、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。 1. 特別研究9単位を修得。 2. 研究科共通科目中の必修科目2単位（情報学リサーチプロポーザル1単位、上級国際インターンシップ1単位）を修得。 ※社会人学生は情報学リサーチプロポーザル及び上級国際インターンシップを選択科目とする。 ※留学生は上級国際インターンシップを選択科目とする。 3. 情報学コア科目を2単位以上修得。 ※社会人学生は情報学リサーチプロポーザル及び上級国際インターンシップの選択科目を含め4単位以上とする。 ※留学生は上級国際インターンシップの選択科目を含め3単位以上とする。									1 学年の学期区分				2期				
									1 学期の授業期間				15週				
									1 時限の授業の標準時間				90分				

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(情報学部 情報学科)																		
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 の教員		
教養教育科目	教養 基盤科目	学びのリテラシー(1)	1前			2		○			2	2		2				
		学びのリテラシー(2)	1後			2		○			8	3				48		
		英語	1・2前後			4			○							11		
		スポーツ・健康	1前後			3		○								18		
		データ・サイエンス	1前			2		○			1			1		5		
		就業力	1前			2		○				2	1					
		小計（6科目）	—		0	15	0	—			11	7	1	3	0	79	—	
	教養 育成科目	人文科学科目群	1・2・3・4前後			2		○			2	1				21		
		社会科学科目群	1・2・3・4前後			2		○			1	6				9		
		自然科学科目群	1・2・3・4前後			2		○			2	2				12		
		健康科学科目群	1・2・3・4前後			2		○								31		
		外国語教養科目群	1・2・3・4前後			4			○							20		
		総合科目群	1・2・3・4前後			2		○			2	1				38		
		小計（6科目）	—		0	14	0	—			5	5	0	0	0	107	—	
専門教育科目	学部 基盤教育科目	情報社会基礎論	1前	○	2			○			1	2	1					
		情報科学入門	1前	○	2			○				2			1			
		基礎情報処理演習	1後	○	1				○			1			1			
		情報社会と倫理	1前	○	2			○				1				1		
		経済学基礎論	1後	○	2			○				2						
		確率統計1	1後	○	2			○				2						
		プログラミング言語1a	2前	○	2			○				1						
		プログラミング言語1b	2前	○	2			○			1							
		微分積分学1	1前	○	2			○				1			1			
		線形代数学1	1前	○	2			○			1					2		
		離散数学1	2前	○	2			○				1						
		小計（11科目）	—		21	0	0	—			3	11	1	2	0	3	—	
		学部 基盤教育科目	社会的コミュニケーション基礎論	1後	○		2			○			1					
	情報メディア基礎論		1前	○		2			○				1					
	情報社会と人権		1前	○		2			○				1					
	マスメディア基礎論		1後	○		2			○			1						
	地域協働論		2前	○		2			○							1		
	経営学入門		2前	○		2			○				1					
	文献研究法		2前	○		2			○			1	1				※演習	
	小計（7科目）		—		0	14	0	—			3	4	0	0	0	1	—	
	学部 基盤教育科目		研究方法基礎論	1後	○		2			○				1				※演習
			事例研究法	2後	○		2			○				1				※演習
			情報と職業	3後	○		2			○			1					
		小計（3科目）	—		0	6	0	—			1	2	0	0	0	0	—	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 (助 手 を 除 く) 教 員	
人文情報 プログラム 科目	行動科学研究法	2前	○		2		○			1						※演習
	微分積分学2	1後	○		2		○				1					
	線形代数学2	1後	○		2		○				1				2	
	プログラミング言語2a	2後	○		2		○				1					
	プログラミング言語2b	2後	○		2		○								1	
	データ構造	2後	○		2		○								1	
	アルゴリズム1	3前	○		2		○			1						
	データベース	3前	○		2		○			1						
	小計（8科目）	—		0	16	0	—			3	3	0	0	0	4	—
	ソーシャルメディア論	2前	○	2			○				1					オムニバス
	近・現代科学哲学	3前	○	2			○				2					
	言語学的コミュニケーション論1	2前	○	2			○			1						
	専門外国語1-A	2前	○	2			○								1	
	専門外国語1-B	2前	○	2			○								1	
	専門外国語1-C	2前	○	2			○				1					
	専門外国語1-D	2前	○	2			○								1	
	専門外国語1-E	2前	○	2			○								1	
	専門外国語2-A	2後	○	2			○				1					オムニバス
	専門外国語2-B	2後	○	2			○								1	
	専門外国語2-C	2後	○	2			○								1	
	専門外国語2-D	2後	○	2			○			1						
	専門外国語2-E	2後	○	2			○			1						
	マス・コミュニケーション理論	2前	○	2			○			1						
	理論社会学	2前	○		2		○			1						
	現代倫理学	2後	○		2		○				2					
	計量文献学	2後	○		2		○				1					
	コミュニケーション心理学演習	3前	○		2		○			1						
	批判的メディアリテラシー	2後	○		2		○				1					1
	歴史情報論	2前	○		2		○									
	言語メディア論1	3前	○		2		○			1						
	比較社会情報学	2後	○		2		○				1					
	集中英語	1後			2		○								1	
	異文化コミュニケーション論	2前			2		○								1	
	コミュニケーション心理学	2後			2		○			1						
	社会的コミュニケーション論	2後			2		○			1						
	非言語コミュニケーション論	3前			2		○								1	1
	言語学的コミュニケーション論2	2後			2		○			1						
	情報社会と人間	2後			2		○				1					
	言語メディア論2	3後			2		○			1						
	映像産業論	2前			2		○								1	
	現代文化論	3前			2		○			1						
	社会心理学	2前			2		○			1						
	身体メディア論	3後			2		○								1	1
	芸術表象論	3前			2		○								1	
	海外実践研修A	1～4前後			1		○			2						
	海外実践研修B	1～4前後			1		○			2						
	Global Issues and SDGs	1前			2		○								1	
	社会階層論	2前	○		2		○				1					
	小計（39科目）	—		28	48	0	—			17	13	0	0	0	13	—
	憲法1	2前	○	2			○				1					
	政策情報論	2後	○	2			○									
	情報産業基礎論	2前	○	2			○				1					
	自然環境論	2前	○		2		○								1	
	環境アセスメント	3前	○	2			○								1	
	生物環境論	2後	○		2		○			2					1	
	地域社会学1	2前	○	2			○			1						

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 （助 手を 除く） 教員 以外の 教員	
社会共 創 ブ ロ グ ラ ム 科 目	公共政策論	2前	○		2		○			1						オムニバス
	情報政治論	3前	○		2		○								1	
	会計情報	3前	○		2		○				1					
	行政法1	2前	○	2			○			1						
	行政法2	2後			2		○			1						
	情報社会と私法	2後	○		2		○					1				
	ミクロ経済学	2前	○		2		○				1					
	マクロ経済学	2後	○		2		○				1					
	会计学1	2前	○	2			○				1					
	地方自治1	3前	○		2		○								1	
	地域メディア	3前	○		2		○			1						
	環境政策	3後	○		2		○			3						
	人間環境論	3前	○		2		○			1						
	民法1	2前	○		2		○					1				
	情報法1	2前	○		2		○				1					
	憲法2	2後			2		○				1					
	環境法1	3前	○		2		○			1						
	環境法2	3後			2		○			1						
	刑法	3後			2		○								1	
	民法2	2後			2		○					1				
	経済学・知的財産法	3前			2		○				1					
	企業法	3後			2		○								1	
	情報法2	2後			2		○				1					
	会计学2	2後			2		○				1					
	生活経済政策	2後			2		○				1					
	金融論	3前			2		○								1	
	政策分析	3後			2		○			1						
	経営戦略論	2後			2		○			1						
	経営組織論	3前	○		2		○				1					
	経営情報論	3前	○		2		○								1	
	地域社会学2	2後			2		○			1						
	地方自治2	3後			2		○								1	
	社会調査実習1	3前			2		○			1	2					
	社会調査実習2	3後			2		○			1	2					
	環境科学演習	2前			1		○			2					1	
	環境アセスメント実習1	3前			1		○			2					1	
	環境アセスメント実習2	3後			1		○			2						
	環境政策実習	3後			1		○			2						
	小計（45科目）	—		14	72	0	—			6	7	1	0	0	10	—
デー タ サイ エ ン ス ブ ロ グ ラ ム 科 目	確率統計2	2前	○		2		○			1						※演習
	多変量解析	2後	○		2		○			1						
	機械学習	2後	○		2		○				1					
	数理最適化	2後	○		2		○				1					
	調査・実験デザイン	2後	○		2		○				1					
	データエンジニアリング	3前	○		2		○								1	※演習
	データマイニング演習	3後	○		2		○								1	
	プログラミング演習1 (DS)	2前	○		2		○			1						
	プログラミング演習2 (DS)	2後	○		2		○			1						
	確率統計演習	2前	○	2			○			1						
	時系列解析	3前	○		2		○				1					※演習
	ベイズ統計学	3後	○		2		○				1					
	ノンパラメトリック解析	3後	○		2		○			1						
	空間統計	3後	○		2		○			1			1			
	経営科学	2前	○		2		○			1						
	意思決定と社会的選択	2後	○		2		○			1						※演習
	シミュレーション	3後	○		2		○				1				1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
計 算 機 科 学 プ ロ グ ラ ム 科 目	ゲーム理論	3前	○		2		○			1					1	※演習
	計量経済分析	3前	○		2		○				1					※演習
	画像処理	3後	○		2		○								1	
	医療 A I	2後	○		2		○								1	
	医療情報学	3後	○		2		○				1					※演習
	学習データ分析	3後	○		2		○								1	※演習
	小計（23科目）	—		20	26	0	—			7	6	0	2	0	3	—
	プログラミング演習1（CS）	2前	○	2			○				1					
	プログラミング演習2（CS）	2後	○	2			○						1			
	情報科学実験1	3前	○	1					○	1			1			
	情報科学実験2	3後	○	1					○		1		1			
	ソフトウェア演習1	3前	○	2				○					1			
	ソフトウェア演習2	3後	○	2				○					1			
	離散数学2	2後	○		2		○			1						
	離散数学演習	2前・後	○		2			○		1	1					
	プログラミング言語3	3前	○		2		○				1					
	形式言語とオートマトン	3前	○		2		○			1						
	論理設計	2後	○		2		○				1					
	計算機システム	3前	○		2		○			1						
	オペレーティングシステム	2後	○		2		○			1						
	数理論理学	2後			2		○				1					
	プログラミング言語4	3後			2		○				1					※演習
	アルゴリズム2	3後			2		○								1	
	デジタルシステム設計	3後			2		○			1				1		※演習
	ソフトウェア演習3	3後	○		2			○								
	ソフトウェア工学	3後			2		○				1					
	関数型言語	3前			2		○				1					※演習
	情報理論	3前			2		○				1					
	情報ネットワーク	3後			2		○				1					
	ネットワークプログラミング	3後			2		○				1					
	コンピュータグラフィクス	3前			2		○			1						※演習
	情報セキュリティ	3後			2		○				1					
	人工知能	2前			2		○			1						
	プログラミング言語技術	3後			2		○				1					※演習
	回路設計	3前			2		○				1					
	物理学基礎1	2前			2		○								1	
	物理学基礎2	2後			2		○								1	
	小計（30科目）	—		10	48	0	—			4	7	0	3	0	2	—
キ ャ リ ア 教 育	社会に学ぶ	1後・2・3・4後			2		○			1						
	仕事の現場を知るA	2後			2		○			1					1	
	仕事の現場を知るB	2前			2		○			1					1	
	仕事の現場を知るC	2前			2		○			1			1		1	
	小計（4科目）	—		0	8	0	—			3	0	0	0	1	3	—
	融合型 P B L 1	3前	○	2				○		20	21	1	5		1	
	融合型 P B L 2	3後	○	2				○		20	21	1	5		1	
	ゼミナール	3通	○	4				○		20	20	1			1	
	卒業研究	4通	○	4				○		20	20	1			1	
	小計（3科目）	—		12	0	0	—			20	21	1	5	0	1	—
合計（186科目）		—		105	267	0	—			22	25	1	6	0	217	—

学位又は称号	学士（情報学）		学位又は学科の分野	社会学・社会福祉学関係，工学関係	
卒業要件及び履修方法				授業期間等	
教養科目は29単位以上、学部基盤教育科目から33単位以上、プログラム科目から30単位以上、自由選択科目から10単位以上、他プログラム科目から10単位以上、融合型PBL4単位、ゼミナール・卒業研究8単位の、合計124単位以上を修得することが卒業要件となる。				1 学年の学期区分	2 期
				1 学期の授業期間	15週
				1 時限の授業時間	90分
1．教養教育科目（29単位）					
（1）教養基盤科目 15単位					
（2）教養育成科目 14単位以上					
2．学部基盤教育科目（33単位）					
必修科目 19単位，選択科目 14単位以上（文系科目及び理系科目からそれぞれ6単位以上）を履修 但し，各PGにおいて，以下の科目を必修とする					
3．プログラム科目（30単位）					
人文情報PG					
社会共創PG					
データサイエンスPG					
計算機科学PG					
4．自由選択科目（10単位）					
専門科目から自由選択					
（キャリア教育科目については4単位まで卒業単位に含めることができる）					
5．他プログラム科目（10単位）					
人文情報PG					
社会共創PG					
データサイエンスPG					
計算機科学PG					
6．融合型PBL（4単位）					
2単位科目2科目以上					
7．卒業研究，ゼミナール（8単位）					

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(情報学研究科 情報学専攻 博士前期課程（修士課程））																		
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	基 幹 （助 手 を 除 く） 教員 以 外 の 教員		
大 学 院 共 通 科 目	アカ デミ ック シ ョ ン	Research Skills - Presentation and Writing 効果的なプレゼンスキルとライティ ングスキル	1・2後			2		○								4	オムニバス	
		小計（1科目）	—	—	0	2	0	—			0	0	0	0	0	4		
	サイ エ ン ス	Pythonによる数理解析	1・2後			2		○										1
		画像処理と実践応用演習	1・2後			2		○			1							
		小計（2科目）	—	—	0	4	0	—			1	0	0	0	0	1		
	サイ エ ン ス	レギュラトリーサイエンス概論	1・2後			2		○			1	2						11
		小計（1科目）	—	—	0	2	0	—			1	2	0	0	0	11		
研 究 科 共 通 科 目		データ利用基礎論	1・2前			2		○				1					集中	
		量的調査技法	1・2後			2		○				1						
		社会起業家特論Ⅰ	1・2後			1		○			1						隔年	
		社会起業家特論Ⅱ	1・2後			1		○			1							
		先端応用情報学特講 A	1・2前			1		○			1						隔年	
		先端応用情報学特講 B	1・2後			1		○			1							
		先端応用情報学特講 C	1・2前			1		○			1						集中	
		先端応用情報学特講 D	1・2後			1		○			1							
		先端応用情報学特講 E	1・2前			1		○			1						集中	
		先端応用情報学特講 F	1・2前			1		○			1							
		先端応用情報学特講 G	1・2前			1		○			1						集中	
		先端応用情報学特講 H	1・2前			1		○			1							
		先端応用情報学特講 I	1・2前			1		○			1						集中	
		先端応用情報学特講 J	1・2前			1		○			1							
		現代数学特論A	1・2前			2		○			1							
		現代数学特論B	1・2後			2		○				1						
		現代数学特論C	1・2前			2		○				1						
		国際インターンシップⅠ	1・2通			1			○		25	22	2					
		国際インターンシップⅡ	1・2通			2			○		25	22	2					
		インターンシップⅠ	1・2通			1			○		25	22	2					
	インターンシップⅡ	1・2通			2			○		25	22	2						
	情報学研究セミナー	1・2 前・後		4			○			25	22	2						
	小計（22科目）	—	—	4	28	0	—			25	22	2	0	0	2			
情 報 科 学 コ ア 科 目		離散構造特論	1・2前			2		○				1					1	
		アルゴリズム論	1・2前			2		○			1							
		数理論理学	2後			2		○				1						
		計算量特論	1・2前			2		○			1							
		関数解析学特論	1・2前			2		○				1						
		量子計算理論	1・2前			2		○										
		情報理論特論	1・2前			2		○				1						
		数理情報学特論	1・2前			2		○				1						
		ソフトウェア工学特論	1・2後			2		○				1						
		情報ネットワーク特論	1・2前			2		○										

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹（助手を除く） 教員以外の教員	
情報科学 コア科目	情報セキュリティ特論	1・2前			2		○				1					
	インタラクショナルデザイン特論	1・2後			2		○			1						
	人間情報学特論	1・2後			2		○				1					
	画像情報工学	1・2前			2		○			1						
	画像システム特論	1・2前			2		○			1						
	パターン認識特論	1・2前			2		○			1						
	情報システム工学	1・2後			2		○				1					
	データ解析特論	1・2後			2		○			1						
	データマイニング特論	1・2後			2		○			1						
	疫学・医療統計特論	1・2後			2		○				1					
	神経計算論	1・2後			2		○			1						
	知識情報処理特論	1・2前			2		○			1						
	地理情報科学特論	1・2後			2		○			1						
	意思決定科学特論	1・2前			2		○			1						
	オペレーションズ・リサーチ特論	1・2前			2		○			1						
小計（25科目）		－	－	0	50	0	－			13	10	0	0	0	2	
社会情報学 コア科目	比較社会情報学特論	1・2前			2		○				1	1				集中
	理論社会学特論	1・2後			2		○				1					
	コミュニケーション特論	1・2後			2		○				1					
	言語メディア特論	1・2前			2		○				1					
	言語コミュニケーション特論	1・2後			2		○				1					
	言語分析特論	1・2前			2		○					1				
	日本語コミュニケーション研究特論	1・2後			2		○						1			
	現代文化特論	1・2前			2		○				1					
	倫理学特論	1・2前			2		○					1				
	地域社会学特論	1・2後			2		○				1					
	公法特論	1・2前			2		○					1				
	知的財産法特論	1・2後			2		○						1			
	行政学特論	1・2前			2		○							1		
	行政法特論	1・2後			2		○				1					
	グローバル地域創生特論	1・2前			2		○				1					
	国際関係特論	1・2後			2		○				1					
	公共システム特論	1・2後			2		○				1					
	企業・産業分析スキル特論	1・2前			2		○				1			1		
	経営管理特論	1・2後			2		○					1				
	社会実証特論	1・2前			2		○							1		
	経済情報特論	1・2前			2		○					1				
	会計情報特論	1・2後			2		○					1				
	理論経済学特論	1・2後			2		○					1				
	環境科学特論	1・2前			2		○				1					
	地域自然環境特論	1・2前			2		○				1					
小計（26科目）		－	－	0	50	0	－			13	8	2	0	0	3	
特別 研究	情報学研究	1・2 前・後		12				○		25	22	1				
	小計（1科目）	－		－	12	0	0	－			25	22	1	0	0	
合計（79科目）		－	－	16	144	0	－			25	22	2	0	0	22	
学位又は称号		修士（情報学）		学位又は学科の分野					社会学・社会福祉学関係 工学関係							
卒業・修了要件及び履修方法								授業期間等								
修了要件は、以下の要件を満たし、かつ30単位以上を修得するとともに、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。 1. 特別研究12単位を修得。 2. 研究科共通科目中の必修科目4単位（情報学研究セミナー4単位）を修得。 3. 自身の所属するプログラムのコア科目を8単位以上修得。 4. 大学院共通科目、研究科共通科目について、必修科目を除き併せて4単位まで修了要件の修得単位に含むことができる。								1 学年の学期区分				2期				
								1 学期の授業期間				15週				
								1 時限の授業の標準時間				90分				

授 業 科 目 の 概 要				
(情報学研究科 情報学専攻 博士後期課程)				
科目 区分	授業科目の名称	主要 授業 科目	講義等の内容	備考
研究科 共通科目	研究人材就業力養成基礎		企業人講師を中心に、社会人としての基礎力と、産業界における研究開発者として活躍するために必要な知識・スキルを、ロールプレイング形式を多用し修得する。価値創造に必要な、企画・マーケティング・研究開発・生産・販売に至る一連の企業活動を概観する。さらに、企業においての価値創造を行う際の思考法を身につける。加えて、協業する際のビジネスマナーの基礎も学ぶ。これらの多くを、体験学習形式を通して行う。	
	実践アントレプレナーシップ特論		イノベーションの基本知識を学ぶとともに、イノベーションを生み出すアントレプレナーシップについての概念について学ぶことを目的とする。イノベーションとは「今まで結び付きの無かった要素同士が結び付き、新たな価値を生み出すこと」である。また、ここで言う「価値」とは「市場の課題を解決する事」である。これを実践するのはアントレプレナーである。基礎知識を修得した後、ビジネスゲームやグループワーク等で体感しながら実践的な知識と技術の修得を目指す。講師の実際の起業経験や様々な企業の過去事例をもとに分かりやすく解説する。	
	実践研究リーダーシップ特論		企業での研究開発部門において、信頼されるリーダーとしてリーダーシップをとるための理論を理解し、周囲の力を引き出し、組織のパフォーマンス向上に導くためのスキルについて学ぶ。また組織と人間行動を理解し、信頼関係をつくり、方向を示し、人を導く力を身に着ける。事例と演習、課題を通して理解を深める。	
	実践グローバル研究特論		グローバル企業への就職や海外勤務を想定した就活のための準備や、英語によるプレゼンテーション発表、実践的な英会話をロールプレイング形式で行う。また、海外で働くために必要なコミュニケーション力（会話・メール等）を高めていく。実践英会話以外の講義はすべて日本語で行う。	
	専門実践インターンシップ		修得した専門知識を企業において実践的に活用する能力を培うために、事前教育を含めて3ヶ月程度の長期間の企業におけるインターンシップを行う。事前教育としては、企業におけるマナー、知的財産、安全管理について教育する。加えて、派遣先の企業およびそこでの職務に応じた周辺分野の教育も行う。派遣先企業の担当者と協議を基に経過報告書を作成することを義務づけ、最終的な報告書を提出させ、最後に発表会を開催しそこでの発表・討論を経験させる。	
	融合型リサーチプロポーザル		情報学分野の先端研究開発について文理融合の観点から幅広い知識を持たせること、情報学分野全体を見渡せる能力を持たせること、および情報学分野に共通な課題抽出能力、課題設定能力、課題解決能力、を身につけさせることを目的として、指導教員、副指導教員及び指導教員とは異なる分野から選定されるアドバイザーの指導の下、自分の研究専門分野以外の分野に関係する課題を設定してリサーチプロポーザルを行わせる。くわえて、発表会を開催し、そこでの発表と討議を経験させる。	
	国際リサーチコミュニケーション		海外の技術者・研究者との英語による研究討論の能力を養うために、国際会議、国際的な研究プロジェクトの会合、国際的な研究会、あるいはこれらに準じる場所において、英語による研究発表、海外の研究者との討論・交流等を行い、英語でコミュニケーションする能力の実践的訓練を行う。訓練終了後成果報告書を作成させることで訓練の成果をより確かなものにする。	

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門コア科目	計算機・情報科学特別レクチャー		デジタル技術を活用した製品やサービスなどを提供するためのシステムやソフトウェアの設計・実装・運用や、デジタル環境におけるサイバーセキュリティリスクの影響を抑制する対策を担うソフトウェア・セキュリティエンジニアの専門性を深めるとともに、他の人材類型(データサイエンティスト、ソーシャルアーキテクト、デザイナー)に対しても専門性を深め、研究・開発を担うリサーチャーに必要な能力を身に付ける。ソフトウェア・セキュリティエンジニアは、コンピュータサイエンス、AI・データサイエンス、ソフトウェア、セキュリティ技術、デジタルテクノロジーに関する知識が要求される。これらに対応する専門的な分野である、数学・アルゴリズム・グラフ理論・機械学習・画像処理・ユーザインタフェースなどを網羅的に学び、その先端的内容を相互の関係も含めて理解する。 (オムニバス方式／全15回) ガイダンス (② 天野一幸／1回) 計算量理論、アルゴリズム論、機械学習に関する講義 (⑤ 奥寛雅／1回) 高速画像処理、高速光学デバイスに関する講義 (⑧ 加藤毅／1回) AI、機械学習に関する講義 (⑬ 柴田博仁／1回) ユーザインタフェースデザイン、認知科学に関する講義 (⑱ 照屋保／1回) 数理解析学に関する講義 (⑲ 中野眞一／1回) アルゴリズム、最適化に関する講義 (⑳ 荒木徹／1回) グラフ理論、組合せ最適化に関する講義 (㉑ 安藤崇央／1回) ソフトウェア工学、形式手法に関する講義 (㉒ 石井基裕／1回) 代数学に関する講義 (㉓ 大下達也／1回) 整数論に関する講義 (㉔ 河西憲一／1回) 待ち行列理論、確率モデル、情報通信ネットワークに関する講義 (㉕ 齋藤翔太／1回) 情報理論とその機械学習などへの応用に関する講義 (㉖ 千田浩司／1回) 情報セキュリティ、データプライバシーに関する講義 演習	オムニバス
	データサイエンス特別レクチャー		データの利活用によるサービス・ビジネスの実現のためにデータを収集・解析する仕組みの設計・実装・運用を担うデータサイエンティストの専門性を深めるとともに、他の人材類型(ソフトウェア・セキュリティエンジニア、ソーシャルアーキテクト、デザイナー)の専門性を深めて研究・開発を担うリサーチャーに必要な能力を身に付ける。データサイエンティスト、特にデータを収集・解析する仕組みの設計・実装・運用を担う人材は、AI・データサイエンス、データエンジニアリング、コンピュータサイエンス、セキュリティ技術に関する知識が要求される。これらに対応する専門的な分野である、データサイエンス・オペレーションズ・リサーチ、最適化理論、機械学習、データ収集・計測手法などを網羅的に学び、その先端的内容を相互の関係も含めて理解する。 (オムニバス方式／全15回) (① 青木悠樹／1回) 物性実験、センサー測定に関する講義 (⑥ 奥貫圭一／1回) 都市・地域解析論、地理情報科学に関する講義 (⑩ 木森義隆／1回) 数理形態学、医用画像処理、深層学習に関する講義 (⑭ 嶋田香／2回) ガイダンス、データ科学、知能情報学に関する講義 (⑮ 地村弘二／1回) 認知神経科学、神経情報学に関する講義 (⑰ 鈴木裕之／1回) 制御・システム工学、光工学、光量子科学に関する講義 (㉔ 王 緒／1回) データ包絡分析、効率性評価・分析、オペレーションズ・リサーチに関する講義 (㉖ 大塚岳／1回) 非線形解析学、応用数学に関する講義 (㉘ 片山佳代子／1回) 疫学、社会医学、健康行動科学に関する講義 (㉚ 高木理／1回) 医療情報学、医療データ分析、形式手法に関する講義 (㉝ 永野清仁／1回) 最適化理論、機械学習、ネットワーク最適化に関する講義 演習 1～3	オムニバス

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
	社会・環境共創情報学特別レクチャー		社会的洞察や状況分析に基づいて何らかの目的のために組織内で関係者をコーディネートして協働関係の構築をリードしながら、目的実現に向けたプロセスの一貫した推進を担うソーシャルアーキテクトの専門性を深めるとともに、他の人材類型(ソフトウェア・セキュリティエンジニア、データサイエンティスト、デザイナー)の専門性を深めて研究・開発を担うリサーチャーに必要な能力を身に付ける。 ソーシャルアーキテクトは、高度情報社会が直面する諸問題とその解決方法を探究する社会・環境共創情報学をより専門的に学び、合意形成や組織変革等を通じて地域的・社会的課題の解決を目指すために、社会的な洞察力、戦略的立案能力、マネジメント能力、経営、データ・AIの戦略的活用、セキュリティマネジメントに関する知識・能力が要求される。これらの育成に必要な専門的な分野である、意思決定論、公共政策論、経営情報論、地域社会学、開発経済学、計量経済学、経営組織論、法律学などを網羅的に学ぶ。 (オムニバス方式／全15回) (④ 岩井淳／2回)イントロダクション、社会・環境共創情報学の概要、合意形成と意思決定支援 (⑪ 小竹裕人／2回)高度情報社会の公共政策論、データ解析と政策評価 (⑫ 坂田勝彦／2回)地域社会の課題とエンパワーメント、コミュニティベースのアプローチ (⑯ 杉山学／2回)システム最適化の手法、DXによる社会変革 (㉓ 江良亮／2回)データ分析による社会課題の特定と評価、経済政策と社会的包摂 (㉗ 大野富彦／2回)組織運営の理論と実践、サービスデザインとイノベーション (㉙ 坂本和靖／2回)計量分析による家計行動メカニズムの解明、少子化対策・社会保障制度の政策評価 (㉚ 藤井正希／1回)憲法の視点から考える社会システム	オムニバス
	人文・社会情報学特別レクチャー		社会やビジネスからの視点と関係するステークホルダーの視点を総合的に捉え、法律・制度・製品・サービスの方針や開発のプロセスなどを策定すると共に、それらに沿った製品やサービスの在り方のデザインを担うデザイナーの専門性を深めるとともに、他の人材類型(ソフトウェア・セキュリティエンジニア、データサイエンティスト、ソーシャルアーキテクト)の専門性を深めて研究・開発を担うリサーチャーに必要な能力を身に付ける。 デザイナーは、高度情報社会における人間の在り方を探究する人文・社会情報学をより専門的に学び、現代社会のさまざまな局面で求められる新しい考え方を探究するため、社会やビジネスからの視点とステークホルダーの視点を総合的に捉えて、政策・商品・サービスなどの方針や開発プロセスを策定することが求められ、これには社会的な洞察力、社会に関する幅広い理解、戦略立案能力、創造性が要求される。これらの育成に必要な専門的な分野である、社会学、社会心理学、情報社会論、比較社会学、比較文化論、メディア史、計量社会学、コーパス言語学、生命倫理学などを網羅的に学ぶ。 (オムニバス方式／全15回) (③ 伊藤賢一／3回)イントロダクション、人文・社会情報学の概要、社会の変容と情報化の影響、高度情報社会におけるデザインの意味 (⑦ 柿本敏克／2回)グループ・ダイナミクスと社会心理学の視点、人々の行動や意思決定に影響を与える要因 (⑨ 河島基弘／2回)多文化社会におけるデザイン戦略、環境倫理とサステナビリティの視点 (⑭ 鳶島修治／2回)計量的手法を用いた社会分析、階層的な不平等とサービスデザイン (⑯ 平田知久／2回)デジタルメディア環境と社会の変遷、サービスデザインにおけるデジタルの役割 (㉓ 吉川正人／2回)デジタル時代における言語データの活用、コミュニケーションデザインにおける言語の役割 (㉚ 小谷英生／2回)倫理的視点からの社会デザイン、倫理的配慮と社会的責任	オムニバス

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
特別研究	情報学特別研究		学生がそれぞれの学修したい専門分野について指導教員に配属され、その指導の下で研究活動を実施する科目であり、修士課程における情報学研究に対応する科目である。修士課程より高度かつ専門的な内容を扱い、実践的な課題解決能力や高度な専門知識に基づく価値創造能力に加えて、研究や社会活動に対する主体性・積極性も養う。また、研究活動や社会活動を通じて研究活動を対外的、特に国際的に説明、調整する能力を養い、グローバルに活躍できる人材を育成する。 (① 青木悠樹) 物性実験、センサー測定に関する研究 (② 天野一幸) 計算量理論、アルゴリズム論、機械学習に関する研究 (③ 伊藤賢一) 理論社会学、情報社会論に関する研究 (④ 岩井淳) 社会情報システム学、意思決定支援論に関する研究 (⑤ 奥寛雅) 高速画像処理、高速光学デバイスに関する研究 (⑥ 奥貫圭一) 都市・地域解析論、地理情報科学に関する研究 (⑦ 柿本敏克) 社会心理学、グループ・ダイナミックスに関する研究 (⑧ 加藤毅) AI、機械学習に関する研究 (⑨ 河島基弘) 社会学、比較文化論、環境倫理に関する研究 (⑩ 木森義隆) 数理形態学、医用画像処理、深層学習に関する研究 (⑪ 小竹裕人) 公共政策論、政策分析に関する研究 (⑫ 坂田勝彦) 地域社会学、福祉社会学、社会問題論に関する研究 (⑬ 柴田博仁) ユーザインタフェースデザイン、認知科学に関する研究 (⑭ 嶋田香) データ科学、知能情報学に関する研究 (⑮ 地村弘二) 認知神経科学、神経情報学に関する研究 (⑯ 杉山学) オペレーションズ・リサーチ、経営科学、経営情報学に関する研究 (⑰ 鈴木裕之) 制御・システム工学、光工学、光量子科学に関する研究 (⑱ 照屋保) 数理解析学に関する研究 (⑲ 中野眞一) アルゴリズム、最適化に関する研究 (⑳ 荒木徹) グラフ理論、組合せ最適化に関する研究 ㉑ 石井基裕) 代数学に関する研究 ㉒ 江良亮) 実証経済分析、開発経済学に関する研究 ㉓ 大下達也) 整数論に関する研究 ㉔ 大塚岳) 非線形解析学、応用数学に関する研究 ㉕ 大野富彦) 経営学、経営組織、サービス・マネジメントに関する研究 ㉖ 片山佳代子) 疫学、社会医学、健康行動科学に関する研究 ㉗ 河西憲一) 待ち行列理論、確率モデル、情報通信ネットワークに関する研究 ㉘ 齋藤翔太) 情報理論とその機械学習などへの応用に関する研究 ㉙ 坂本和靖) 計量経済学、労働経済学に関する研究 ㉚ 高木理) 医療情報学、医療データ分析、形式手法に関する研究 ㉛ 千田浩司) 情報セキュリティ、データプライバシーに関する研究 ㉜ 鳶島修治) 計量社会学、社会階層論、教育社会学に関する研究 ㉝ 永野清仁) 最適化理論、機械学習、ネットワーク最適化に関する研究 ㉞ 平田知久) メディアの社会史、比較社会学、近現代思想に関する研究 ㉟ 藤井正希) 憲法学に関する研究	